

2012年 ドリームごよみ

8月

高次脳機能障がい者活動センター 調布ドリーム

今月の映画上映

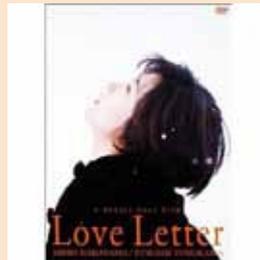
「Love Letter」 ラブ・レター

監督：岩井俊二

主演：中山美穂

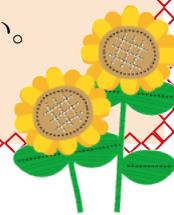
日時：8月18日(土)

13:00 ~ 15:30



毎月第3土曜日の午後、リハビリを兼ねて、自主映画上映会を行っています。

どなたでも お気軽にお出かけください。



8月の予定 (都合により変更もあります) ボランティア募集中

日	月	火	水	木	金	土
火曜日～土曜日：10時～15時 10時：ラジオ体操 午前・休みの日は13～17時			1 グッズメイク 音楽	2 料理 MT パソコン	3 料理の買物 卓球	4 料理教室 (西部センター) 焼きそば他三種
5 休日	6 休み	7 大正琴 カラオケ	8 グッズメイク 音楽	9 詩を作ろう SST	10 バザー準備 卓球	11 チャリティーバザー 10:00～14:00
12 休日	13 休み	14 夏休み	15 当事者会準備 MT 運営委員会	16 犬クッキー試作 認知リハ	17 午前休み 卓球 親睦会	18 絵手紙 映画(ラブレター) 家族会
19 休日	20 休み	21 犬クッキー試作 ジャズピアノ	22 グッズメイク 音楽	23 ゲーム パソコン	24 当事者会準備 卓球	25 絵を描こう 当事者会
26 休日	27 休み	28 料理 MT SST	29 編物教室 音楽	30 料理 MT 認知リハ	31 午前休み 料理買い物 卓球	

MT：ミーティングの略 SST：社会技能訓練



7月のご報告



長谷川 幹先生をお迎えして

『新たな地域づくり～高次脳機能障がい者と地域住民の交流から～』を開催

第17回ドリームサロン 2012年7月21日(土)開催

ドリームサロンは、「高次脳機能障害を 知ろう 語ろう もっと身近に！」を合言葉に、 트레이ニー（当事者）主体で年に3回のペースで開いています。今回は三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長 長谷川 幹先生をお迎えして、『新たな地域づくり ～高次脳機能障がい者と地域住民の交流から～』というテーマでお話いただきました。先生は2009年に脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会を設立され、その代表も務めていらっしゃいます。

さて、当日はお客様18名の参加を得て総勢57名。調布ドリームの椅子が足りなくなるくらいの盛会となりました。



第1部 高次脳機能障害の特徴、本当の意味での自立とは

調布ドリームの活動紹介のあと、先生のお話。脳に関する基礎知識から丁寧にひも解いてくださり、脳損傷の主な症状、高次脳機能障害の特徴などを豊富な症例を用いて分かりやすく解説していただきました。また中途障害の方の心理や、本当の意味での自立とは『自分の生活スタイルを自分で決めて（援助を受けることも含めて）実践する』ことであると熱く語られました。

第2部 自己紹介と質疑応答

「かんたん自己紹介」（30秒以内で自分のことを語る）では、お客様を含めて全員の声が聞けました。その後の質疑応答では、家族や当事者から現在困っていることなどについての先生への質問が出て、充実した時間となりました。



3時間に及ぶドリームサロンを、会場の準備・受付・会場案内・開会あいさつ・司会進行（1部、2部で分担）閉会のあいさつまで、大部分をトレーニーが運営（職員は手助け）していけるようになったのも積み重ねの力でしょうか。



ご来場いただいた方々から感想をいただきました！

- 特に先生のお話が具体的（CT画の紹介とか）で参考になりました。【当事者】
- 大変勉強になりました。社会とのつながりが大切だと思いました。ボランティアにも関心があります。【一般】
- 医学的な面から説明していただいたので理解できた。【福祉関係】
- 本人主体で会が進められている、進めることができることに感心します。【他団体】
- 調布でこのような“場”があることは誇りです。これからも応援させていただきます。来て良かったー！！【行政関係】
- 長谷川先生およびそのグループに出会えた人は幸運。しかしそのような出会いは求めても絶対的に足りない。そのあたりの問題、不公平は全国的に大きいと思う。家族としてもなかなか支援ができないことが辛いこともある。【家族】
- 私は、久しぶりにドリームに参加して新鮮にドリームを、感じさせて頂きました。新しい顔ぶれも増えた様子で、また懐かしい方に会うことも出来大変良いサロンでした。ありがとうございました。【当事者・再就職】



「調布ドリーム 犬用クッキー」製作に挑戦中！



試作を続けて販売実現を目指します【ひじちゃん／ 트레이ニー】

ただ今、調布ドリームでは、来年4月の就労継続支援B型取得を目指して、トレーニーを主体として、犬用クッキー製作しています。レシピも何も分かりませんでした。調べたら結構ネットで公開している人がいまして、それらを参考にお菓子作りのプロカズさんに助言を貰いながら、製作の手順を覚える、味、材料を決めるために試作を開始しました。初めは焦げたり、焼きムラがあったり、あまり美味しくなかったりで、なかなか上手くいきませんでした。

そして、赤い羽根支援金が認可され、大きな冷蔵庫や焼きムラのない最新式のオーブンを購入して試作していくうちに適度な焼き温度も見えてきました。

作業手順は、作業写真付きの手順書を作り、ホワイトボードに貼り、作りましたが、効率が悪いということで、4人程度の少人数制3グループ程度で行ったところ、効率も上がり、今はもう、材料の分量をホワイトボードに書いておくだけで、手順書など見なくてもどんどん作れるようにまでなりました。まだまだ、販売までには、ハードルが沢山あると思いますが、試作を続けることによりクリアしていこうと思っています。

蓼科一泊旅行のしおりを作成

パソコン教室で楽しく作成できました【やすくん／トレーニー】

蓼科一泊旅行のしおりをパワーポイントで作成しました。僕は、しおり5ページのうち2ページ目を作成しました。初日の昼食は蓼科湖湖畔の石臼挽き手打ちそば「やまなみ」です。その後、希望者は白樺湖湖畔の温泉を楽しみ、ピラタスの丘にあるペンション「山ぼうし」に宿泊します。

2日目は諏訪湖湖畔の「くらすわ」で昼食をいただきます。楽しくしおりを作成できました。



↑しおり

パソコン→



ボランティア体験の感想

たくさんのお話を学ばせてもらいました【Kくん／神代高校1年生】

7月28日土曜日と7月31日火曜日に奉仕活動の一環として参加させていただいたのですが、2日という短い期間でたくさんのお話を学ばせてもらいました。1日目の「絵を描こう」では、皆さんとても絵が上手で驚くばかりでした。映画鑑賞では、皆さん映画の内容を深く捉えつい聞き入ってしまうような感想を聞かせていただきました。2日目の「犬のクッキー」では、職員の方を中心に試行錯誤して結果とても美味しいクッキーが出来上がりました。

この2日間、職員の方々だけでなく利用者の方々にもお世話になりました。2日間という短い期間でしたが、たくさんのお話を学ぶことができました。

料理→



ご報告

◆ボランティア・ご見学など◆

・ボランティア開始 13日：卓球の時間にHさん、Fさん。28日・31日：都立神代高校の「奉仕」の授業の一環としてKくん（高校1年生）。

・ご見学 12日：麦ちゃんのSST取材の為5名（関東学院大学広報部・日経BPコンサルティング企画出版部）の方。13日：デイサービスみずきTさん（当事者）、Sさん（職員）卓球へ。24日：大久野病院よりOTのKさん。25日：Oさん（当事者・調布市）。28日：助成金申請中の木下財団よりSさん。31日：Sさん（当事者・調布市）とお母さん。



◆東日本大震災チャリティバザーのご報告◆

14日のチャリティバザーではご寄付いただいた新しい品物がたくさんあり、それが売り上げ大幅増につながりました。売上金 22,750 円+寄付金 1,719 円=合計 24,469 円でした。ありがとうございました。振込手数料を除く全額を「NPO 法人いわて脳外傷友の会イーハトープ」へ送らせていただきました。また反省会の折にトレイニーから、これまでの実績をお知らせすると良いのではという意見がありましたので、事業所開設の昨年 4 月からの実績をご報告させていただきます。

H23 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
38,686	17,525	10,420	15,870	9,850	7,920	7,620	10,150	13,160
H24 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	総計	
13,450	お休み	13,620	11,150	14,800	8,310	24,469	215,900 円	

なお、7月のチャリティバザー用ご寄付の品として、ご近所の M さん、K さんより蒸し器、エプロンなど。K さん、きょうべいさんより料理酒・味噌。トレイニーのご友人 M さんよりインスタントコーヒー。西部地域センターチャリティーバザー用品募集箱より布などいろいろな品物のご寄付を頂きました。ありがとうございます。引き続きご協力をお願い申し上げます。

◆ご寄付よろしくお願ひ致します◆

7 月は、中嶋勝夫様と匿名希望 2 名様よりご寄付を頂きました。ありがとうございました。

【ご寄付の振込先 郵便局 00180-9-651828 「調布ドリーム」】

※通信欄に「寄付」と明記の上、ご氏名、ご住所、電話番号をご記入ください。追って領収書をお送りいたします。またドリームごよみにお名前を掲載させていただきますので、匿名ご希望の場合は、その旨も通信欄にご記入をお願いします。

◆東京都の高次脳機能障害専用電話のご紹介◆

- ・東京都心身障害者福祉センター 電話 03-3200-0077
月～金曜日 9時～12時、13時～16時（祝日・年末年始を除く）
- ・とうきょう高次脳機能障害インフォメーション <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shinsho/kojino/index.html>

調布ドリームご利用ガイド

- *活動日：週 5 日（火～土）10 時～15 時。 送迎なし。 昼食は各自持参。
- *プログラム：卓球、音楽、認知リハ、パソコン、グッズメイク、ゲーム、絵手紙、編物、SST、絵画、料理、カラオケ、大正琴、チャリティーバザー、ジャズピアノ、映画鑑賞、地域イベント参加、ドリームサロン開催 etc.
- *職員：施設長 1 名、サービス管理責任者 1 名、支援員 3 名。
- *リハビリ講師：15 名、家族ボランティア・一般ボランティア数名。
- *定員：20 名 ご利用には障害福祉サービス受給者証が必要です。（お住まいの各区市の障害福祉課に申請）
- *障害者手帳がなくても高次脳機能障害の医師の診断書がとれる方、また介護保険の第 2 号被保険者（40～65 才未満）の方もご利用いただけます。
- *利用料は障害者自立支援法の規定に基づきます。所得により月額負担上限額があります。
- *随時ご相談を受け付けます。まずは見学にお出でください。不明な点は、その際にご相談ください。

編集後記 ロンドン五輪が無事終わりました。これで睡眠不足にならなくてすむ…。そういえば、この後に始まるパラリンピックの公式 CM が超カッコイイと話題です。ネットで見ました。なるほど so cool でした！（まさみ）
「ドリームごよみ 8 月」 2012 年 8 月 14 日 発行

NPO 法人高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム <http://www.chofudream.com>

（〒182-0036 調布市飛田給 2-22-7 TBK ビル 1 階、京王線「飛田給」駅南口徒歩 1 分）

TEL/FAX： 042-444-3068 E-mail：info@chofudream.com 代表 吉岡千鶴子



調布ドリームでは、みんなが呼称を申告し、対等で打ち解けやすい呼び方を取り入れています